

# 公開研究室一覧及び配置図

1階

食生命科学科

地域総合科学科 農業科学コース

地域総合科学科 地域共生コース

## 遺伝子実験施設403

遺伝子工学

(担当: 安西【食生命】)

古谷【地域共生】)

遺伝子工学技術を利用し、植物の病気に関する研究や生活に役立つ植物・微生物の開発研究を行っています。



遺伝子実験施設

食堂

売店

こぶし会館

## 中庭

展示

応用動物行動学

(食生命)

(担当: 安江)

★オープンキャンパス当日が晴天の場合、午後にはヤギがいます



研究棟入口

## 102・103

生物制御化学(食生命)

(担当: 戸嶋・長谷川)

生物由来の低分子生理活性物質(有機化合物)を対象として、化学合成の手法と分析機器類を駆使した研究を行っています。

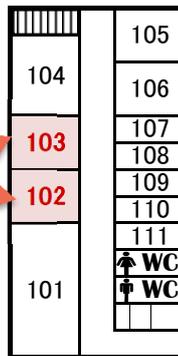
特殊実験棟

受付

講義棟

図書館

総合案内



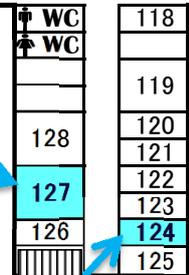
(関連)2階、  
235研究室

## 124

物質動態工学(地域共生)

(担当: 中石)

河川・湖沼や用排水路など水環境における濁水の水処理を目的に、濁水中で形成されるフロックの流動や沈降特性を解析しています。



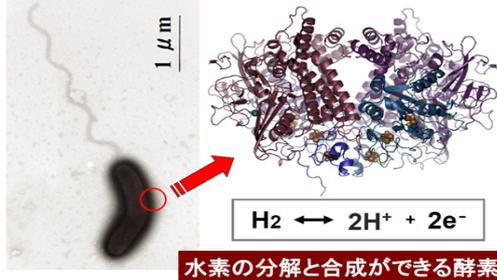


## 304

分子微生物工学(食生命)  
(担当:西原)

水素酸化細菌の機能を利用して水素の合成や電力への変換、水素と炭酸ガスを原料とした有用炭素資源の生産につながる研究をしています。

### 水素を酸化(分解)するバクテリア



## 320・325

園芸学(農業科学)  
(担当:井上・望月)

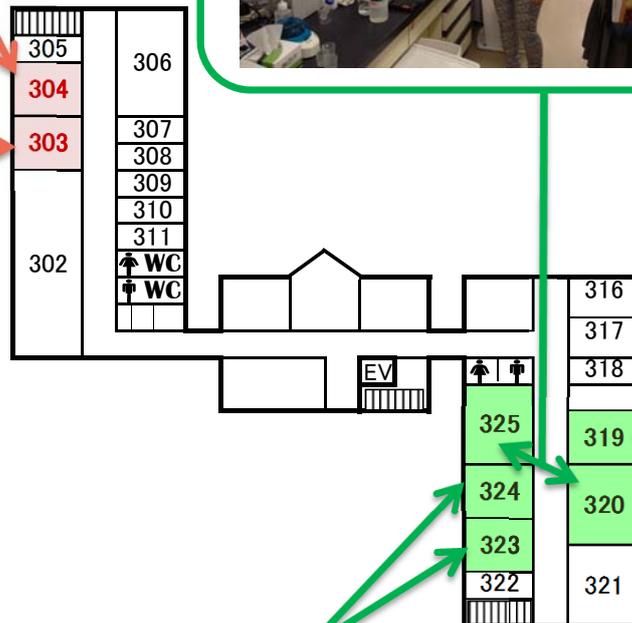
野菜や果物など園芸作物の生産と有効利用に役立つ情報を得るため、生理・遺伝的なアプローチで研究に取り組んでいます。一度のぞいてみてください。



## 303

食品生化学(食生命)  
(担当:長南)

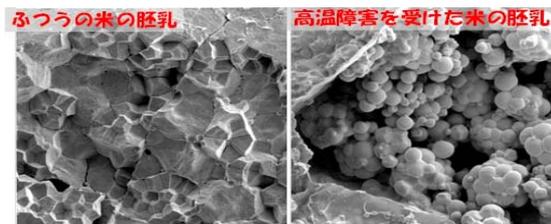
コエンザイムAという補酵素は生体内炭素代謝と密接に関係しています。この物質の細胞内動態を解析し、代謝調節機構の解明や有用物質生産への応用を目指しています。



## 319・323・324

作物学(農業科学)  
(担当:新田・浅木)

イネやサツマイモ、スイートソルガムなどの作物を扱い、品質・収量の向上を目指した研究や電子顕微鏡を使った形態学的な構造解析などを行っています。





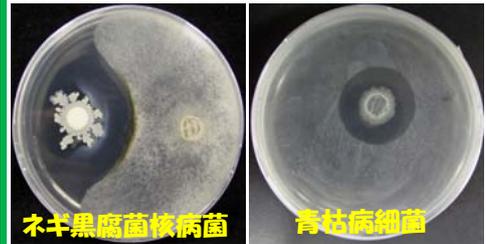
# 4階 その2

428・431

植物生体防御学(農業科学)

(担当: 中島雅己)

植物の病気を防ぐために病原菌の弱点、植物の抵抗力を見つけ出す研究や納豆菌などの力を借りた安全な防除法の開発に挑戦中です。



マッシュルームコンポストから分離した細菌 (*Bacillus amyloliquifaciens*)を用いた バイオコントロール技術の開発



432・433

応用動物昆虫学(農業科学)

(担当: 後藤・北嶋)

植物寄生性ダニ類(ハダニ)や食品害虫の分類、生態、防除に関する研究を行っています。生きているハダニや多数の昆虫標本も展示しています。是非見学に来て下さい。



実験

**506**  
植物育種学(農業科学)  
(担当:久保山)

私達の研究室では、植物の品種改良に役立つ技術開発を目的に、イネ、アサガオ、レンコンで遺伝的な研究をしています。



実験

**505**  
分子微生物工学(食生命)  
(担当:久留主)

遺伝子組換え技術に用いるプラスミドの安定分配機構の解明、DNAの酸化損傷機構の解明について研究しています。



**532**  
応用動物行動学(食生命)  
(担当:安江)

家畜の行動にあわせた適切な飼育管理方法を提言・評価する研究室です。雨でなければ、午後は中庭のヤギの所へ来てください。

**523**  
動物保健衛生学  
(食生命)

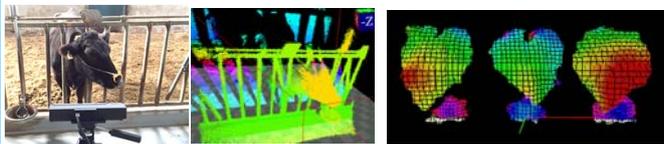
(担当:上塚)

農場で発生する家畜の病気について調べています。病気の原因の侵入経路として、カラスやスズメの糞の関連を調べているところです。



**504**  
農業生産システム工学(地域共生)  
(担当:岡山)

3次元カメラを用いてキノコや植物の生長、動物の行動を記録し、有用な情報を抽出するための解析をしています。また、園芸療法活動に利用するための卓上型植物栽培システムの開発も行っています。

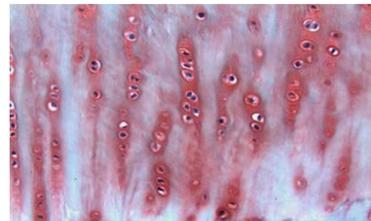


3次元カメラを用いた牛の行動解析

3次元カメラを用いたインゲンマメ葉の調位運動

**526・527・530**  
動物機能形態学(食生命)  
(担当:中島弘美)

動物の体のつくりと働きを研究しています。一緒に顕微鏡を覗いて、動物の組織・細胞を観察してみませんか！



軟骨細胞とグリコサミノグリカン(サフランin-O染色)



**719**  
**農環境システム学(農業科学)**  
 (担当:田附)

果菜類果実において塩や暗黒などの環境要因に関する遺伝子の機能を調べています。また、パソコンを使って呼吸や蒸散などの生理機能の解析も行っています。

**722**  
**生命系経済学(地域共生)**  
 (担当:内田・伊丹)

サステナビリティ(持続可能性)について考える研究室です。新しい農業の技術が環境や経済にどのような効果や影響を与えているかを調べています。



**703**  
**農業メディアシステム学(地域共生)**  
 (担当:木下)

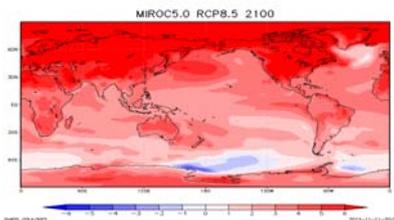
地域の問題や世界の問題に対して地理・GISをキーワードに研究をしています。学生の研究テーマでは、地域の身近な問題に対し、その原因や解決方法について取り組んでいます。

**728**  
**食料情報学(地域共生)**  
 (担当:長澤)

食料に関わる問題をコンピュータシミュレーションを用いて定量的に評価する研究を行っています。

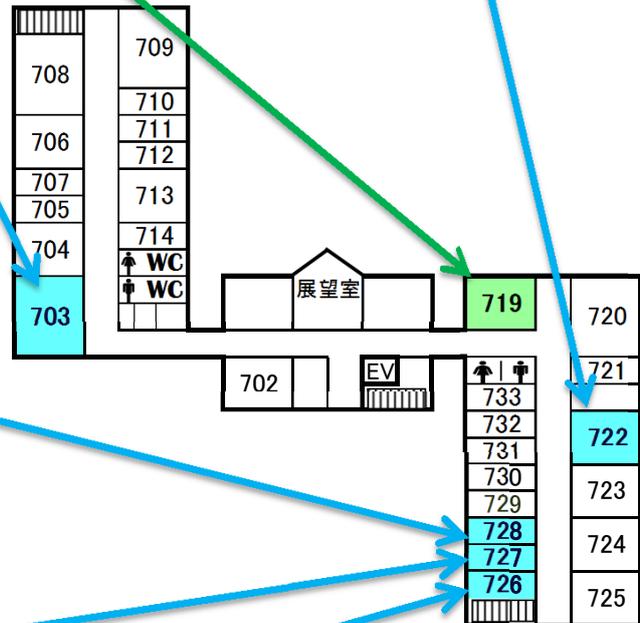
**727**  
**農業気象・情報学(地域共生)**  
 (担当:増富)

地球温暖化が農作物に及ぼす影響をコンピュータシミュレーションや気候予測を用いて定量的に評価する研究を行っています。



**726**  
**景観整備学(地域共生)**  
 (担当:高瀬)

人口減少や人々の価値観が多様化する社会において「どのように風景を楽しむことや、自然に親しむための緑のマネジメントを実現させていくか」という研究をしています。



# フィールドサイエンス教育研究センター

**FSセンター209**  
 農業安全管理学(食生命)  
 (担当:小針)

家畜や動物園動物を対象として、動物行動学的手法を用いて、飼育管理上のストレス問題の解決やアニマルウェルフェアの向上に関する研究に取り組んでいます。

**FSセンター207**  
 農業安全管理学(地域共生)  
 (担当:小松崎)

環境にやさしい農業や有機農業のなかで、カバークロップの利用が注目されています。カバークロップを上手に利用して、環境と調和する新しい作物栽培システムをご紹介します。



**FSセンター216 と  
 ビニールハウス**  
 農業生産技術学(農業科学)  
 (担当:佐藤)

「湯苺」をはじめとして、フィールドでの野菜・作物栽培研究を行っているラボです。ビニールハウスもあります。ぜひ見学に来てください!